

第88号

2010.9.10

社会福祉法人 いわき福音協会

福島整肢療護園

〒970-8001

福島県いわき市平上平塚字

古館1番地の2

TEL.0246-25-8131

FAX.0246-22-1259

http://www.ryogoen.jp/

E-mail.info@ryogoen.jp

# クラウンKさん来園!



レッパゴ-!  
Happy通信へ (P5)

## 目次

- クラウン『K』さん来園 — 1
- 病棟の余暇活動 — 2
- りょうご園のボランティアさん — 3
- 新任のご挨拶 総看護師長・橋本澄子 — 4
- 親の会の活動について — 4

- HAPPY通信
- ホスピタルクラウン来園 — 5
- りょうご園についてご存知ですか?  
『介護員について』 — 6
- りょうご園カフェへようこそ — 6
- 編集後記 — 6

# 病棟の余暇活動

りょうご園の各病棟ではさまざまな余暇活動を行っています。  
今回は1病棟の活動をご紹介します。

## FREEDOM

フリーダムは1病棟のパソコンクラブの名称です。毎週水曜日の午後6時から1時間、中学生中心のメンバー5名で活動しています。今夏の「ふれあいたのしい会」では、動画やアニメーションを使った「まんが」(テーマは「地球を大切に」)の上映会も行い大好評でした。これからの活動も期待しています!

### ◆メンバー紹介(Q1フリーダムの好きなところは? Q2これからやってみたいこと…)

- ① なにかをつくる  
ところ  
② みんなとパソコンで  
絵をかいいたりいろん  
なことをしたい



かずこさん(部長)

- ① 自立に向けて、  
いろいろな事に挑戦  
できること  
② 沢山キーボードを  
打つこと



まやちゃん(副部長)

- ① パソコンの使い方を学  
んだりできること  
② マンガでもっと内容の  
多いものを作ってみ  
たいです



かつやくん

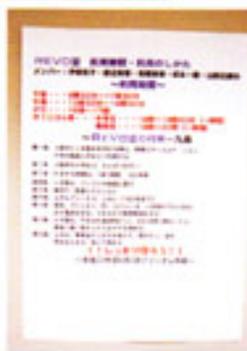
- ① 色々な人と交流を  
ふかめることがで  
きるところ  
② カレンダー作り



かずまくん

- ① パソコンを使ってくわ  
しく学べること  
② ブラインドタッチが  
できるようになりたい

### ◆活動紹介



メンバーで話し合いパソコン室  
利用のルールを決めました



フリーダム作 名(迷?)画アルバム



“フリーダムカレンダー”で新年を  
迎えます



夏祭りのチケットは毎年大好評

## もうすぐ FREEDOM

毎週水曜日の夕方はフリーダム初心者コースの時間です。パソコンをしたり散歩をしたり、子どもたちがその日にしたいことを自分で選んで活動しています。



# りょうご園の ボランティアさん



りょうご園では多くのボランティアのみなさんに活動いただいております。今回のひかりの丘88号ではボランティアさんの活動の様子をご紹介します！

## ～ボランティア紹介～

### ひなたぼっこさんの活動

毎年、環境整備(花壇整備・除草・窓ふき等)や行事に際し活動して下さるボランティア団体の『ひなたぼっこ』さん。代表の會川さんはじめ毎回大勢の方に来園頂いています。今年度も4月に第1病棟前中庭の除草作業を、7月のふれあいたのしい会では各種出店のお手伝いをさせていただきました。



以前の作業の様子

ふれあいたのしい会での様子(子どもや職員とひなたぼっこのみなさん)

### 教会奉仕のみなさんによる活動

教会奉仕のみなさんは日本基督教団に属する磐城教会、勿来教会、常磐教会、小名浜伝道所の婦人会の働きの一つとして1967年4月より活動されています。現在は教会員の方や関係するお知り合いの方を中心に約10名に毎月1回来園していただき、利用者さんの衣服や各種道具類のカバー等の縫製作業をお願いしています。



平成22年7月 活動の様子

### 縫製ボランティアさんの活動

平成21年12月より不定期に活動いただいている一條早苗さん。手芸や洋裁が得意との事で、毎回各種縫製をお願いしています。クリスマスにはたくさんの手作りフクロウを寄贈いただき、多くの方に配布させていただきました。



手作りフクロウ

製作した介護服



平成22年6月 作業の様子

製作した椅子カバーと一緒に♪

### いわき市庭師組合さんの活動



5月に張っていたいたいの芝生の様子(7/28日現在)



昨年の作業の様子



5/30(日) 昨年に続きいわき市庭師組合の方々が植栽の手入れや除草作業、芝張りを行ってくださいました。作業が始まると、あっという間に植栽や中庭がきれいになりました。さすがプロ!その手際や技には感嘆の一言です!!!

### 行事ボランティアさんの活動

近年りょうご園の行事に際しては、各種演奏や演舞をしていただくボランティアさんの存在が欠かせません。7/24(土)に行われたふれあいたのしい会でもいわき市の職員で構成されたAQUAのみなさんによる金管五重奏と福島学院大学の学生さんによるよさこいの演舞が披露されました。AQUAのみなさんは子どもたちにおなじみの曲からクラシックまでステキな演奏を披露。その音色に会場はうっとり。よさこいのみなさんは日頃各地の大会にも参加されており、その実力と迫力に会場の熱気は最高潮となりました!

近年りょうご園の行事に際しては、各種演奏や演舞をしていただくボランティアさんの存在が欠かせません。7/24(土)に行われたふれあいたのしい会でもいわき市の職員で構成されたAQUAのみなさんによる金管五重奏と福島学院大学の学生さんによるよさこいの演舞が披露されました。AQUAのみなさんは子どもたちにおなじみの曲からクラシックまでステキな演奏を披露。その音色に会場はうっとり。よさこいのみなさんは日頃各地の大会にも参加されており、その実力と迫力に会場の熱気は最高潮となりました!



金管五重奏 AQUAのみなさん



よさこいを披露された福島学院大学のみなさん

皆様いつもご活動いただきありがとうございます。紙面を通じて改めてお礼申し上げます。また、りょうご園でのボランティア活動に興味をお持ちの方は研修広報委員(担当:松本・時寛 tel.0246-25-8131)までご連絡下さい。



● 新任のご挨拶



総看護師長 橋本 澄子

本年4月より勤務しております。前任の星邦子総看護師長の退職に伴い、その後任として勤務することになりました。前星総看護師長とは、警成共立高等看護学院の第一期生として寮生活から寝食を共に学んだ友です。福島整肢療護園の日々の看護の内容等、丁寧に説明して頂き、責任の重さの中にも医療と福祉の連携の中で日々安全に行われる看護を身近に感じられる自分があることに気づくことができ、感謝しております。自己紹介と看護への期待をのべ挨拶と致します。

私の生まれた安達郡岩代町(現、二本松市)は阿武隈高原の山間地です。富士山の見える北限の地である「日山」を毎日見ながら中学校に自転車で40分位かけ通いました。いわきは、母が小名浜生まれで小さい時から来ており身近なところでした。今思えば、いわきは私にとってはお会いに見えていたのだと思

います。小学校時代の将来の夢は、「婦人警官、看護師、北海道の牧場のお嬢さん」と、町の有線放送で小学3年時のインタビューに答えた事を思い出します。今、その夢の中から選んだ看護師生活が40年目に入りました。

私は、人間対人間の看護、その人のもてる力を引き出し、安全・安楽にケアすること、が基本と考えます。人間の持つ与えられた力を信じて、前向きに行動して、はじめて本来の看護に近づくと考えます。そのため、自分に与えられた場所、前向きに生きること、仕事を楽しむこと、周囲の人々の中にある自分の位置を理解すること、と思います。今、ここ福島整肢療護園は、私にとって新たな看護領域に入りました。それは、医療と福祉の連携の中で行われる日々の活動において、それぞれの持つ職種の密接なつながりです。専門的視点を大切にしな

がら、それぞれの職種が責任をもって役割遂行できることです。共に同じ立場(理念、目的)に立ちながら理解を深める思いで、看護の立場からのご要望を尽くしたいと思っております。

信仰の立場から行われることですが、毎朝、讃美歌を歌い、聖書を読む朝礼から入ることに少し落ちついて対応できるようにになりました。日々行うことは、人間の修養にとつて大事なことであると感じています。今の楽しみは、水曜日の淡治郎先生により行われる聖書の講読です。自然と心穏やかになる自分を感じています。

いわき福音協会本部へはじめて伺った折に、海野理事長より「福祉の視点を大事にしてほしい。療護園は治療も看護の視点も大事です。生活しながら長期に過ごす場でもあり福祉的な要素も大事です」とお話されました。また、「急ぐことではないので、周囲の人が良く知っているの聞いてほしいと、外から入るとその視点は大事に生かしたい。より質の良い入所者への支援につながるばよいのです」とのことばも頂きました。今、落ちついて自然の流れにのりながら、重症心身障害児(者)、肢体不自由児(者)の方々と向き合い、じっくり看護の仕事をしていきたいと思っております。関心のある取り組みでは平成20年11月から「身体拘束ゼロ委員会」を立ち上げ園全体として取り組

んできている「拘束廃止」の活動です。日々の看護において、拘束ゼロを目標に看護に取り組むことは、それぞれの対象者への関心の向け方が問われることであると思えます。看護の先人であるナイチンゲールは、「看護覚え書き」の看護師とは何かのなかで、「第一の関心(知的な関心)、第二の関心(こころのこもった関心)、第三の関心(実践的技術的関心)」を注ぐことにより、その人の生命力を消耗させているものを見出すことができ、その人の感情を察しながら生命の消耗を最小にする手立てを講ずることができると述べています。私たち看護するものは、これを基本に対象者への関心を高め、安全な看護の提供をしていきたいと思っております。

また、7月24日に行われた「ふれあいたのしい会」に参加して、より強い思いを抱いたことは、家族とのつながりです。日頃の表情からみて一段と喜ぶ子どもたちを見て、親御さんの様子を見ながら、それぞれの思いを汲み取りながら看護に向き合いたいと思っております。

また、7月24日に行われた「ふれあいたのしい会」に参加して、より強い思いを抱いたことは、家族とのつながりです。日頃の表情からみて一段と喜ぶ子どもたちを見て、親御さんの様子を見ながら、それぞれの思いを汲み取りながら看護に向き合いたいと思っております。



親の会の活動

平成22年度総会について

親の会事務局(主任ケースワーカー) 時實 拓志

近年、福島整肢療護園親の会は夏に開催される総会と年度末に行われる保護者と職員の間を2つの柱に活動しています。

平成22年度の総会は7月24日(土)午後(ふれあいたのしい会の後)に当園本館二階研修室にて開催され、現在の会員57家族中15家族18名と施設から4名(事務局およびケースワーカー)の参加がありました。

今回は定例の前年度事業・収支決算報告と今年度事業計画・予算案といった内容に加え、福島県重症心身障害児(者)を守る会や施設からの話題提供がありました。その中の共通点は、政權交代に伴う障害者自

立支援法の廃止から平成25年8月の障害者総合福祉法(仮称)制定に向けた動きや混乱の中、慎重に情勢を見据えた上で保護者・施設がそれぞれに役割を見定めて協力する必要性や、障害者本人の生活を豊かなものにし、また入所契約を法的に有効なものにするためにも本人の権利を擁護する必要性(成年後見制度の活用)といった部分でした。

これからも子どもたちのため、保護者の方々と施設が協力して行ければと思います。

立支援法の廃止から平成25年8月の障害者総合福祉法(仮称)制定に向けた動きや混乱の中、慎重に情勢を見据えた上で保護者・施設がそれぞれに役割を見定めて協力する必要性や、障害者本人の生活を豊かなものにし、また入所契約を法的に有効なものにするためにも本人の権利を擁護する必要性(成年後見制度の活用)といった部分でした。

これからも子どもたちのため、保護者の方々と施設が協力して行ければと思います。





# Happy通信

8/21(土)りょうご園に「笑い」etc...を届けるべくクラウン「K」さんこと、日本ホスピタルクラウン協会理事長の大棟耕介さんが来園されました。今回は、来園時の子ども達とのHAPPYな様子をお伝えします。



クラウン「K」さんが療護園に遊びに来てくれました。

「K」さんはみんなのお友達です。小さい子にはそっと優しく、大きい子には気さくに、大人には楽しく接してくれました。

世界のクラウンの大会で金メダルを獲った「K」さんは、すごい技を次々に見せてくれました。ジャグリング、手品、皿回し、額に椅子を乗せたり、たくさんのバルーンアートも披露してくれました。

「K」さんはみんなに魔法の粉をまいて行ってくれたようです。

「K」さんの去った後には、笑顔の花が咲きました。

今年会えなかったお友だちのもとへも、またいつか「K」さんが会いに来てくれるといいですね。

みなでお礼の手紙を書きましょう。

きっとみんなの思いは伝わるはずですよ。

診療部長 吉原 康



# りょうご園についてご存知ですか？

H20年2月からりょうご園(1病棟・3病棟)に新しいスタッフとして介護員が加わりました。1人1人の利用者者とじっくりふれあう時間が増え、明るい笑い声が聞こえてきます。今回は3病棟のお仕事を紹介します。

## ●介護員のお仕事



保育士と一緒にMYUクラブ(余暇活動)を盛り上げてくれます。



1人1人のスピードに合わせて楽しいごはんを食べます。



座位保持装置やベッドをきれいに整えてくれます。



季節によってかわる空気をいっしょに感じています。



このコーナーでは、当園のスタッフが好きなこと、気になることなどなどを自由におしゃべりします。スタッフの新たな一面がわかるかも！  
第4回は、理学療法士の飯塚太朗さんです。

### 『嵐のマラソン便り』

こんにちは！リハビリテーション課の瀧澤です。31年間、履歴書の“趣味”欄にありきたりな事しか書けなかった僕が、いわきに来てから生きがいの趣味に辿りつくことが出来ました。それが“マラソン”と“嵐”なのです。まずはマラソンから…。まだハーフまでの経験で、タイム更新よりも完走第一のビギナーズランナーです。大会参加は少し遠方まで足を伸ばし、『僕は独身貴族…』と言い聞かせ、一抹の寂しさを感じながらの男一人旅。当日のスタート直前は緊張と興奮でアドレナリンが充満し、レース中は沿道の応援に笑みがこぼれ、お礼を言ったりハイタッチで応えたりすることで人との

繋がりを感じ、ゴール後は走り終えた充実感に満たされます。大会はまさにパワースポットなのです。そして嵐…。言わずもがな、あの嵐です。病棟保育士さんにライブDVDを借りたことがきっかけで年下のアイドルに夢中に、でも僕は正真正銘の男ですよ、あしからず。彼らが5人集まると個性がかみ合って素敵な空間が出来上がりますよね。ちなみに一番好きな歌は“still”なのですが…みんな分かってくれます？そしてiPadで嵐の曲を聴きながらマラソン練習をすることが楽しみなのです。最近は何も買いなおしました。嵐を聴きながら新しい車でマラソン会場まで一人旅…今はこんなことを夢見ている、独身貴族真った中のお便りでした(笑)。



## 編集後記



記録的な猛暑の中、7月31日をもって飯塚陽子主任保育士が退職しました。療護園に勤務して35年。療護園の重鎮として、子どもたちや家族は勿論、ときには職員にもいろいろなアドバイスをくれた飯塚主任。名前の如く「太陽」のような明るい笑顔と、療護園内のどこにいても聞こえる“あの”笑い声で我々を和ませてくれた飯塚主任。その声も聞かれなくなった今は、灯りが消えたような淋しさとともに、療護園の歴史の1ページが閉じたような気がします。35年間の感謝と今ごろは専業主婦として、家事や自分の趣味に有意義な毎日を送っている飯塚主任の新たな人生にエールを送るとともに、今後も輝き続ける女性であることを期待しています。(羽)

